

# パラスポーツ体験イベントで 共生社会を目指す

茨城県を中心に、関東に190店舗（2020年11月時点）のスーパーマーケットを展開する株式会社カスミ。同社は、自治体や民間企業と連携したパラスポーツのイベント開催に取り組むことで、バリアフリーな共生社会の創生を目指している。



## 株式会社カスミ



体験会・講習会

### 企業情報

#### 株式会社カスミ

【担当部署】ビジネス変革本部 SDGs推進 環境社会貢献

【住所】茨城県つくば市西大橋599-1

【電話】029-850-1850(代表)

【URL】<https://www.kasumi.co.jp/>



### つくば市や地元企業と連携した パラスポーツイベントが大好評

「今年(2020年)の2月に茨城県つくば市で『つくパラ2020』というイベントを当社が主催となって開催しました。イベント参加者だけでなく、協賛していただいた企業や、つくば市からも大変好評でした。」と現・ビジネス変革本部 SDGs推進 環境社会貢献担当マネジャーの小島雅弘氏。



小島マネジャー

「つくパラ2020」は、車いすバスケ、ブラインドサッカー、ポッチャなど、さまざまなパラスポーツ体験を通して、「みんなと一緒に生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指す」というメッセージを発信するイベントである。

「今回参加していなかった障がい者スポーツ競技団体からも『仲間に加わりたい』というお声をたくさんいただいています。つくば市とも足並みをそろえ、継続して開催していき、長く続く文化を作っていきたいです。」(小島マネジャー)



つくパラ2020の様子

### 意外な縁で生まれた「つくパラ」。 多彩なお楽しみ要素で盛り上げる

「つくパラ」が誕生したきっかけは、さまざまな縁が重なったことである。

「2018年に当社の取締役会長(現:相談役)である小濱裕正が対談した選手が市内の関彰商事に入社したり、東京ガスの顧問の方が同社で講演をしたり、そんなつながりがあって3社でイベントを開催することになりました。」(小島マネジャー)

約1年前からプロジェクトチームを立ち上げ、準備を進め、「楽しいことを追求する」というテーマのもと、イベントには、さまざまな要素を盛り込んだ。

例えば、サッカー選手をゲストに迎えてブラインドサッカーを体験したり、フリーアナウンサーが各スポーツの様子を実況中継で盛り上げたり。

フード関連では、協賛の会社が飲み物を提供。地元の障がい者団体によるお菓子やパンの即売会なども開かれた。さらには盲導犬ふれあいコーナーや、管理栄養士によるヘルスサポート、スタンプラリーでの景品交換など、とにかく盛りだくさんのコンテンツが参加者を飽きさせず、「つくパラ2020」は大盛況に終わった。



ヘルスサポートの様子

### パラスポーツの振興が、 共生社会を創出するきっかけに

イベント自体の成功のほかにも、「つくパラ2020」には効果があった。まずはカスミの自社店舗や地元施設を有効活用した地域活性化である。

『つくパラ2020』の盛り上がりを受けて、当社の中で

もパラスポーツや共生社会への意識が高まっています。店舗内にあるフードコートで開催した、筑波大学が開発した障がい者用の機器を使ったイベントなどはその一例です。」(小島マネジャー)

さらにカスミの「本業」にも好影響があったとのこと。「今まで地元企業とはいえ、なかなか接点がなかった企業の皆さんと、ビジネスにおいても新しい取組が始まっていますし、本当にいい仲間ができたという感覚です。障がい者スポーツ競技団体や障がい者団体からも積極的にお声がけをいただくなど、今までにないネットワークが生まれています。業界や立場が違う人たちが手を取り合うためのきっかけ作りや、パラスポーツへの理解度を高めるための手段として、TEAM BEYONDの活動には期待しています。」(小島マネジャー)



第1回よりもさらに大きな規模の「つくパラ2021」の開催も見据えている。地元の企業や団体の自発的な参加もかなりの数が見込めそうとのことで確実に協力者は増えている。カスミが目指す「みんなが共生する地域社会」への取組は、今後も目が離せない。

### 今後の取組について

「つくパラ2020」実施後に、地元自治体からの積極的な働きかけにより、今後の自治体主催のスポーツイベントとのコラボレーションに向けた話し合いを進めています。つくパラの強みであるパラスポーツの要素をプラスし、総合的なスポーツイベントへとパワーアップを目指し、検討中。これからの「つくパラ」の発展にご期待ください。